

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	英語演習 2	担当教員	亀山太一			
学年学科	専攻科 2 年 Y 専攻	後期	選択	1 単位(学修)		
学習・教育目標	(C-2) 100%		JABEE 基準 1 (1) : (f)			
授業の目標と期待される効果： 英語による研究発表やプレゼンテーションができるようになるための演習を行う。具体的には以下のスキルを獲得・向上させることを目指す。 ①発表に必要な語彙力を身につける ②発表のための文法知識を身につける ③発表のための話し方（発音を含む）を身につける ④発表を効果的に行うための技術を身につける		成績評価の方法： 最終発表におけるパフォーマンスを下に掲載する各観点から 5 段階で評価し、すべての項目において 3 以上の評価を得れば合格とする。 達成度評価の基準： ① 発表内容に応じた適切な語彙を使用している。 ② 発表内容が文法的に正しい英語で表現されている。 ③ 正しい発音および聴衆に理解しやすい話し方で発表できている。 ④ 発表において音声面以外の要素を効果的に使用できている。				
授業の進め方とアドバイス： 最終的には、特別研究発表を英語で行うことを目標とし、そのための準備としてさまざまな演習を通してスキルを身につけていくことをめざす。なお、実際に特別研究発表を英語で行うことを単位認定の条件とするものではない。						
教科書および参考書： プリント教材等、授業の中で配布する。						
授業の概要と予定：前期			教室外学修	AL のレベル		
第 1 回：ガイダンスと英語による自己紹介			次回の授業の予習	B		
第 2 回：英語プレゼンテーションの基礎（1）			次回の授業の予習	B		
第 3 回：英語プレゼンテーションの基礎（2）			次回の授業の予習	B		
第 4 回：英語プレゼンテーションの基礎（3）			発表のための準備	B		
第 5 回：研究内容に関する発表（日本語・第 1 グループ）			発表のための準備	B		
第 6 回：研究内容に関する発表（日本語・第 2 グループ）			次回の授業のための準備	B		
第 7 回：研究発表内容の英語化（Trial 1）			次回の授業のための準備	B		
第 8 回：研究発表内容の英語化（Trial 2）			発表の反省	B		
第 9 回：相互評価			他者の発表に対する評価・検討	B		
第 10 回：問題点の検討			次回の発表準備	B		
第 11 回：研究内容に関する発表（英語・第 1 グループ）			次回の発表準備	B		
第 12 回：研究内容に関する発表（英語・第 2 グループ）			発表の反省	B		
第 13 回：相互評価			最終発表の準備	B		
第 14 回：最終発表（第 1 グループ）			最終発表の準備	B		
第 15 回：最終発表（第 2 グループ）			発表の反省	B		

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	発表内容に応じた適切な語彙を十分に使用している。	発表内容に応じた適切な語彙を使用している。	発表内容に応じた適切な語彙を十分に使用していない。
②	発表内容が十分に文法的に正しい英語で表現されている。	発表内容が文法的に正しい英語で表現されている。	発表内容が文法的に正しい英語で表現されていない。
③	正しい発音および聴衆に理解しやすい話し方で十分に発表できている。	正しい発音および聴衆に理解しやすい話し方で発表できている。	正しい発音および聴衆に理解しやすい話し方で発表できていない。
④	発表において音声面以外の要素を十分効果的に使用できている。	発表において音声面以外の要素を効果的に使用できている。	発表において音声面以外の要素を効果的に使用できていない。